

溝のロキリスト教会 ウィンディ・ニュース
第450号 (2024年4月29日発行)

Windy News 5月号

標語：祈りを聞いて下さる神を信じて前進しよう。
聖句「主をおのれの喜びとせよ。主はあなたの心の願いをかなえてくださる。」
(詩篇37篇4節)



2024



3/31は、イースター礼拝・祝会が4年ぶりに復活しました。長いコロナ禍で、会堂に会して集会を持つことが難しい時期が続きましたが、この日は皆で集い、主のご復活をお祝いすることができました。

準備を進めてくださった委員、婦人部、ハンドベル、ゴスペルの皆さまに感謝します！



吉原先生が、イエス様の十字架は、私たちへの赦しと和解であるとのメッセージを取り次いでくださいました。



教会の内外も、のぼり旗やステッカーなどで仁井田牧師が可愛らしく飾り付けくださいました。



教会内外からの出席にて、会堂は、満席！ハンドベルやゴスペルのコーラスに聴き入りました。



祝会では、楽しいゲーム、景品、兄弟有志による歌や演奏披露、映像など盛りだくさんのプログラムでした。

ひさしぶりの祝会。感謝と喜びのお祈りをささげます。



牧師のコラム 「フィリピンでの娯楽」

吉原 博克

私たち夫婦は朝ドラ好きです。朝ドラとは、NHKが月曜日から金曜日まで、朝の8時から15分間放映している「朝の連続テレビ小説」の通称です。X（エックス、旧・ツイッター）でも、放映直後からその日の感想や分析、識者による解説が分かち合われて盛り上がっている、人気コンテンツです。私たちはNHK オンデマンドに入会していますので、日曜夜の大河ドラマと併せ、夜の自由な時間に「後観（あとみ）」をしています。今は、私たちの「推し」の一人である伊藤沙莉さん主演の『虎に翼』が絶賛放映中で、二人で大いに楽しんでるところです。私たちが朝ドラにはまったのは、やはり20年にわたるフィリピン生活が契機でした。フィリピンでは幸い、地元のケーブルテレビがあり、現地のタガログ語、公用語の英語のみならず、韓国語、中国語、台湾語、ドイツ語、フランス語、スペイン語その他、いろいろな言語のチャンネルが入っており、外国語オタクの私の気分を大いに盛り上げてくれました。

もともと、日本語はNHKワールド・プレミアムという、NHK国際放送の特別チャンネルだけです。私たち家族はいきおい、このチャンネルを囲んで一家団欒の時を持つようになりました。プレミアムは、NHKとはいえ、総合、教育、BSの各チャンネルから、選りすぐりの番組が流れてくるものです。ニュースはもちろん、ドラマにドキュメンタリー、音楽、スポーツにお笑いまで、私たちのフィリピン田舎生活は、大いに潤うものとなったのでした。娘の優里の日本語が微妙に昭和で格調高い（嘘）のも、このチャンネルの賜物です。

すなわち、日本的な娯楽としては唯一のものが、このチャンネルであったわけで、毎日放映されている朝ドラは格好の楽しみでした。中でも印象に残っており、後にDVDのセットまで入手することになったのが藤本有紀氏脚本の『ちりとてちん』（2007-8年放映）でした。福井県小浜市で生まれ育った、ぱっとしない、劣等感の塊の主人公が、祖父の影響で落語に出会い、大阪で落語家入門、苦労を重ねながら本当の幸せを見つけていく、素晴らしい物語です。幅広い落語

の教養と小ネタを散りばめ、無数の伏線を深く張りめぐらせた藤本脚本は、俳優陣の名演・熱演、演出の妙と相まって、主人公のみならず、全ての主要登場人物の弱さと成長を見事に描いて見せてくれる珠玉の絶品に仕上がっており、今なお一見をお勧めするものです。

さだまさし氏が歌い上げてくれている如く、また、神さまの前では特に、私たちは各自が自分のドラマの主人公です。神さまは弱くぱっとしない私たちを、無数の人々と伏線を配置してくださった人生の中で取り扱い、成長させていって下さいます。『ちりとてちん』の感動を思い出しつつ、壮年部のプログラムである5月の寄席と兄妹との交わりを、楽しみにしています。



「絵里姉の洗礼式」



三月二十四日に、絵里姉の洗礼式がもたれました。姉は、四年前の教会のクリスマスにいらしたとのこと。コロナ前で、教会で通常の礼拝、祝会が行われていたところのことでしょうか。

洗礼おめでとう
ございます

その後、おひとりで聖書も読まれて、二年前ほどに神様を受け入れる決心をされたとのこと。今回、仁井田牧師による三回の聖書講座も終えて、いよいよコロナ禍も落ち着いているこの日に、受洗されました、ご家族皆さんが見守る中、洗礼槽の中で祈られ、水に浸され引き上げられた姉に大変感動しました。そのあとの姉によるお証の言葉一つ一つに、私たちも聖霊様の導きを感じ、とても恵まれました。これからも主に守られ、幸いと平安の中、姉が歩めますように、ご家族の祝福とともにお祈りください。

「東海林姉訪問記」

みどり

寒いけど、いいお天気の二月十一日
第二礼拝後の受付付近

「東海林さんのところへ行くよ」という恵美子さんの声に色々な体調不良を抱えて最近お会いできていない姉を頭に浮かべ、「連れて行ってください」と声を上げたところ中谷姉も「行きます」とのこと、三人で東海林姉のお宅に伺うことになりました。

結構な坂道を登ります。車は通れないから安心だけど雪なんて降ったら歩けないわねえとか、あらここが〇〇さんのお宅なのねえくなどとおしゃべりをしながら登り切り、今度はちよつと下り坂。本当にちよつと下ったところ、横道奥に姉のお宅がありました。

恵美子姉は「こんにちはあ〜」と言いなからガララツと玄関を開けて家人の返事も待たずに入っていきます。きつと姉は何度も訪問をしておうちの事情も分かっているのでしょう、戸惑う中谷姉と

私に「こつちよ」と促します。

お部屋に入るとベッドから起き上がって
いた東海林姉がおられました。お顔はそ
のままお元氣そうでした。「今日は中谷さ
んと神田さんが一緒なのよ」と恵美子姉
が言うとお本にうれしそうにベッドから
でて、椅子に座るといいます。恵美子
さんが東海林姉の体を支えてお二人で
「いぐちにくい、いぐちにくい」と声を
出しながらベッドの足元にある椅子まで
歩いて座られました。

そして今度は四人で今いくつになったの
おととか、お部屋の飾り棚を作られたご
主人のお話などしながら姉の病状なども
伺い、最後は四人で手を取り合って祈り
の時を持ちました。

教会に行けずに申し訳ないと何度も話す
姉に、そんなことはないですよと答えて
いましたが、姉のお宅から帰る道すがら
教会に来ることのできない兄弟姉妹の為
に祈ることが大切であること、また実際
にお会いすることも大事なことだと思わ
されました。

「神様と詩集」

佐藤

教会の皆さん、こんにちは。
いつも僕の体調のことでお祈りありがと
うございます。少しずつですが、体調は
上向きの方向に向いてると感じていて、
一歩ずつ歩みを止めず、頑張っていま
す。

実は、最近人生で初めて自分のオリジナ
ルの詩集を作ってみたのですが、思い返
せば、僕はこの教会の皆さんにずっと
支えられて生きてきたなあと思います。

神様はこんな弱くて脆い自分のことを愛
してくださっている、その感謝の気持ち
を今度は誰かの弱さの為の言葉に表現し
たくて詩集を書いてみたんです。その中
で色々な立場の人の心を想像しながら、
言葉を丁寧に紡ぎました。完成してみ
て、そして、はっと気づきました。人の
弱さに自分だったらどんな言葉をかけて
あげられるだろうかと考えて書いた詩
は、神様が、教会の皆さんが、僕のこと
を愛して、支えてくれた日々の全てその

ものでした。神様をこれからも愛し、教
会の皆さんを愛していこうと心に決めら
れた一つのきっかけが僕にとつて詩集だ
ったのかもしれないです。いつも支えて
くださって、お祈りしてくださって、本
当にありがとうございます。僕も皆さん
のこと、今でも心からお祈りしていま
す。



イースターの恵み

「いつも神様の御業がここに」

田口

三月二十九日金曜の受難日は未明からの嵐で目が覚めました。皆さんは覚えているでしょうか。実は去年の受難日二〇二三年四月七日（金）も夕方から強い風雨で嵐のような荒天になったのでした。イエス様が亡くなられた時とまさに同じように黒雲が垂れ込めた空を見上げながら今年もまた、二千年前のゴルゴダの丘での光景を思い描かずにはいられませんでした。

三十一日のイースター当日の朝は打って変わった快晴の下、仁井田牧師がかわいらしく飾り付けた教会に多くの人が訪れました。礼拝はハンドベル演奏（安定の旋律♡）とゴスペル賛美（新メンバー加入♪）で始まりました。

吉原牧師のユーモアを交えたメッセージを通じて、全人類の罪がイエス様ただ一人の血であがなわれたことに深く心を打たれました。そしてフィリピンではイースターの日に実際に十字架の上でクギを打た

れて自身の信仰の証しとする人もいるという衝撃的なお話に皆が青ざめ、さすがにそれは無理だけど、心から神様に感謝し、ごめんなさいと悔い改め、そして「私は何をしましょうか」と言ってみようという気持ちになったのではないのでしょうか。

イエス様の復活と共に溝の口教会の祝会も四年ぶりに復活しました！婦人部の皆さんが作ってくださったローストビーフや唐揚げ、煮物、おこわなどのごちそうが並べられ、皆の（早く食べたい！）という心の声が最高潮となる中、熊谷兄の司会で祝会が始まりました。

トップは桜井兄が制作した力作ムービー。凝った演出の映像で過去のイースターを振り返りました。懐かしい顔や幼かった頃の兄弟姉妹の姿に温かな気持ちになりました。

コンサートでは、勝彦兄の持ち歌「案山子（あかし）」と「すべる」もさらにバージョンアップし、クライマックスに映し出された劇的ビフォー写真に会堂内はどよめきに包まれたのでした。さらに星姉の演奏

するバツハの調べと、佐藤兄の弾き語り賛美に耳を傾けながらポリウムも味付けも満点のごちそうを頂くというすばらしい恵みに、皆の心とおなかは満たされました。

そして迎えたゲームタイムは海兄が準備してくれたグループ対抗クイズ。これはひらめき系のクイズ番組で柔軟な発想を鍛えられている若手の独壇場で、年齢層高めの兄弟姉妹は「来年こそ」と生きる力を得る結果となりました。

最後に、その日から半年間、熊本での研修に向かう小林兄のために皆で祈り、四年ぶりの祝会は幕を閉じました。

イエス様のご復活を喜びながら、久しぶりに教会に来られた兄弟姉妹と言葉を交わしたり、進学や就職で新生活へと向かう若者にお祝いや励ましの声を掛けたり、新たに加わった皆さんにごあいさつすることができて、本当にすばらしい祝会でした。いつも神様の大きい御業が働いていることをイースターに再確認できて感謝です。

ユースキャンプ

3/26-28 @ 藤野芸術の家

「神様は“隣”に、そして“若い”力を活かして」

家族3人で、3月26日(火)から28日(木)にかけてユースキャンプに参加しました。今回の教区キャンプは私たち姉妹にとって初めてのキャンプでした。講師としてミヤンマー人の荻野茶々師を迎え、「チャレンジ」をテーマにメッセージを受け取り、分かち合い、そしてたくさんの賛美を捧げることができました。

最初のプログラムはレクでドッジボールを行う！と言われ、姉妹共にひよってしまい輪に入れずにいたのですが、スタッフの子や先生に声をかけて頂き輪の中に入ることができました。そこからは聖会や賛美集会、デイスカッションなど多くの奉仕者によるプログラムを無事にかつ楽しく過ごすことができました。久しぶり同士の子もいれば、私たち姉妹のように「キャンプは初めてです」という人、さらにノンクリスチャンで教会のキャンプって何？という大学生もいて、小学生から大人まで幅広く多様な年齢の人と共に3日間を過ご

しました。

この3日間は私にとって、他の人のために祈る重要さ・すごさを感じ、また祈ってもらおうことの素晴らしさ、聖霊の強い働きと力強さを感じることができたものでした。神様といつもいっしょ歩んでいることを再確認し、神様に従って人生を捧げる決心をしてきた先生方(特にユースの先生)に出会い、祈ってもらい、聖霊の激動した力を感じました。実は参加前は、小学生や中高生など私よりも少し年下の子どものちの信仰決心のために祈ったりして見守る形で過ごすのかなと想像していました。しかし実際は同年代の様々な学生と出会うことができ偶然にも同じ大学のクリスチャンの学生とも再会でき、非常に充実した3日間でありました。ずっと参加してみたかった教区キャンプ。しかし参加する勇気が出ないままコロナ禍を迎え、交わりや分かち合いから心が遠く感じる日々になりかけていたこの時期に、ようやく実現したキャンプ参加。自分にとってはようやく迎っていた恵でありましたが、神様の御計画はいつも「良い」ものです。人の思考が一本の筋だとすると神様の思考はとてとても人間にはわからないような複雑

でいろんなところを通る道です。しかしいつも私の横に、すぐ隣に主がおられることをキャンプを通して確信しました。感謝です。

また私は今回のキャンプに参加するにあたって個人的に信仰のステップ(課題)を意識していました。それは「お祈りをする」ということでした。忙しさを言い訳に神様と向き合う時間を取らなかつたり、多くの悩みに負けそうになるほど心が沈みかけた状態がここ半年ほど続いていたので、「きちんと心を静めて神様へお祈りしなければならぬ」と自分で自分を少し追い込んでいきました。そんな中キャンプに参加することになり、いつでも「神様！」と祈れるようになりたいという想いがありました。そしてそのステップ(課題)を今回の初ユースキャンプを通して私は力強く一歩踏み出すことができました。昨年聖霊を受けましたがなかなか信仰のスランプ状態で、辛い日々が続いていたあの頃には全く想像していなかった信仰の次の一歩を踏み出せたのです。私の人生においてこんな素晴らしすぎるタイミングで恵を受けられるなんて！！と喜びに溢れました。

私はこの初めてのキャンプにおいて3つキーワードが非常に印象に残っています。「信仰と行動」、「真隣に歩んでいる」、「若さという賜物」です。ゲスト講師の茶々先生は、ミヤンマーの方で現在は会社経営や引きこもり支援など様々な活動をなさっている面白い経歴の先生でした。ニホンゴが独特でところどころ文法や表現を気にしてしまいがちな我々日本人ですが、茶々師のメッセージは力強く、ときにユーモアに溢れ神様の素晴らしさを全身で伝えながらイエスさまの似姿を常に追い求め、聖霊の炎の力にみなぎった方だと感じました。神様によって与えられた忍耐と愛を活かし用いて、置かれた場所で仕える姿勢はまさにサーバントであり、素晴らしいお働きをなさっているという印象を受けました。何とも言えない独特な発音や直球的な表現によって語るメッセージでは、ときに聞き取れずわからないことがありますでしたが不思議なことに、神様が伝えたいこと(軸)は私の心にスッと入って行きました。

1つ目の「信仰と行動」は、初日のメッセージにおいて「信仰は持っているだけでなく、行動と共に活かすこと」を軸に

みことばを受け取りました。「信仰は行動を伴って初めて信仰だよ」という言葉は私が信仰によって積極的に行動していくためのエンジンをかけてくれるものでした。2つ目の「真隣に歩んでいる」は「イエス様が真隣に歩んでいてくださるからクリスチャンは行動の先々で証になるデスよ」というメッセージの言葉は私にとっても強いインパクトを与えました。神様は畏れ多くいと高き存在です。しかし同時に隣に座って歩いていてくださいます。私はキャンプに参加する前の状態では、神様は「遠い」天から私を愛してくださるという認識が強く、主の存在を少し「遠く」感じていました。しかし今回の恵を通して、神様は決して「遠い」お方ではなく、むしろ近しく誰よりもへりくだられた従順な姿を見せてくださった方であることをしっかりと認識する機会となりました。最後に「若さという賜物」では、ユースの先生方に祈ってもらい、また同年代のクリスチャンが自分には何ができるか祈り求めたという証を聞き、若者は未熟だからという考えが変わり、神様が「とき」を見て後業へと導いてくださり、若い人には若い人が必要であるということを強く感じました。神様は、

私の全てを完全に知っておられる方だからこそ素晴らしいと感じるタイミングに備えて下さり準備をしてくださり、愛してくださっている、そう強く確信した今これからの人生も「隣に」イエスさまがいることをいつも思い歩みたいと思います。「若者にすぎないと言ってはならない。わたしがあなたを、だれのところへ遣わそうとも、行ってわたしが命じることをすべて語れ。」エレミヤ書「章7節。



■部会報告

【婦人部】

中川

昨年度は3年ぶりの婦人部会を開催し、5月からは火曜聖研も再開され、婦人部として少しずつ活動を始めた一年でしたが、今年度は、コロナ前の活動に戻していきたいと願いつつ、活動計画を考えました。まずイースターで祝会をすることになり、様々な手立てを考え、準備していくことにしました。以前のようにはいきませんが、イースターを皆で心からお祝いする祝会にと願い、準備を進めているところです。

また震災以来13年にわたり続けてきた支援のプレゼントも、今年の石川能登の地震を受けて、東北から石川能登への支援にシフトしました。毎年担当してくださる姉妹たちの素早い対応で、早速先日100組のプレゼントを金沢教会の浦野先生にお送りすることができました。婦人部のパワーを改めて感じています。

昨年度ご病気や遠方のため礼拝に出席できない方々に、婦人部員の一言メッセージ

ージを色紙に貼ってお送りしましたが、今年度からは、お誕生日にカードをお送りすることにして、担当の方をお願いしました。このことは持続的に行なっていたらと思っています。コロナも大分収まっているとはいえ、コロナ前には完全には戻れない状況です。それでも婦人部皆でご奉仕するのは、楽しい交わりの時にもなります。秋の婦人部特伝の開催、お餅つき、クリスマスハンドベルコンサート後ティータイムのご奉仕など、その時々々の状況をみながら、できることを皆で協力して、行っていきたいと考えています。



【青年部】

熊谷

先日、青年部会を教会の会堂で行いました。昨年は結局コロナ禍明けで、おおっぴらにイベントを開いていいかが微妙な期間だったため、あまり青年部の活動は出来ませんでした。しかし、コロナが季節性のインフルエンザと同じ5類に移行し、マスクの着用も個人の判断に委ねられる場面が多くなってきた事で、そろそろ通常の青年部活動を解禁しても良いのでは、という前提のもと今年の計画は立てられました。

今年の青年部活動の大きなポイントは大きく分けて2つです。一つは、コロナ前までは毎年開催していた賛美集会が復活予定です。コロナ禍を経て奏楽者の状況も変化したため、コロナ前のように何バンドかに分けて、というのは難しいかもしれませんが、賛美をたくさん、しっかりと歌える良い時間にしていきたいと思えます。新しい歌も懐かしい歌もいつも新鮮な気持ちで賛美したいですね！乞うご期待ください！

もう一つは、単純に集まるイベントを増やして青年部内での交流の機会を多く持つ予定です。既に開催した桜蘭姉の留学壮行会も交流目的の一つです。(ご参加いただいた方々、ありがとうございます！)他には街歩き謎解き、ボーリング等、楽しいイベントを企画しているので、交流の機会が減っている青年部内の良い時間にしてもらいたいと思います。

青年部のイベントはしばらく休止していましたが、特に学生はどんどん成長して大人に近づいていっているので、ちよつと焦る今日このごろ。学生のうちに一つでも多くの思い出が残るようにイベント考えていきたいです。

青年部員の皆さんは部会以外でもなにかやりたいことあったらいつでもアイデアくださいませ。青年部を囲む皆様はぜひ温かい目で見守ってください。今年の青年部もよろしくお願いいたします



【ゴスペル部】

みどり

今年度も今の私たちの出来る最高の讚美を捧げること、主を告げ知らせる手段として私たちは賛美していくことを目指して活動をして参ります。

教会の活動計画に沿って特別礼拝や集會時、またイベントなどで賛美をしていきます。

具体的な予定としては、

3月31日イースター礼拝で2曲 聖歌

400番きみもそこにいたのか、傷跡

祝会で1曲

This little light of mine

7月 信徒訓練会で1~2曲 曲目未定

12月15日クリスマスキャロル

22日 〃 合同礼拝

24日 〃 キャンドル礼拝

この他今年度は青年部主催の賛美集會があると聞いていますので、こちらにも参加させていただきたいと思っております。

ゴスペル部は信徒の方のみならず、どなたでも参加することが出来ます。

通年参加はできないけれど、この集會は賛美できるといふ方も大歓迎です。

練習は主に毎週日曜日第二礼拝後ですが、若干の変更があるので参加ご希望の方は部員にお問い合わせください。

【広報伝道部】

3月に実施した部会の報告をいたしません。

広報伝道部は教会ホームページの更新、礼拝配信、新聞発行などをメインに活動しています。

部員数は今年度新しく2名の方が入部してくださり全部で11名となりました。

●教会新聞について

昨年に引き続き、隔月での発行することになりました。

部員もたくさんいますので、「編集会議に参加する」「記事を書く」「パソコンでまとめる」「印刷作業をする」など

一人ひとりができることをしながら、みんなで発行をしていきたいと思っています。

●取材旅行について

以前は、星野富弘美術館や賀川豊彦記念松沢資料館などにみんなで取材旅行に行ったこともありましたがコロナ禍でこ

こ数年は取材旅行には行けていませんでした。

今年度くらいから再開できるようまた行先など検討をしていくことになりました。

●教会員のみなさんへ

ウインディニュースで教会イベントの記事を書いたり編集作業をお手伝いしてくださいの方がいましたらぜひ広報伝道部員までお声かけください。

また、「こんなイベントがあるよ」とか「取材旅行のおすすめ場所」など何かありましたら教えていただけますと嬉しいです。

どうぞ、よろしくお願い致します！

(広報伝道部…小侯)

おすすめ！

今月の牧師コラムを読んで、皆さんへのおすすめがあります。オンデマンドはテレビ画面で見逃しや昔の番組を見られますが有料です。手軽なのが「NHKプラス」というNHKの地上放送の番組をインターネットで視聴できるサービスです。放送受信契約のある世帯であれば無料で朝ドラや大河ドラマの見逃し配信が見られます。ニュース等もほぼ同時に配信されるので便利です。

◆ 5 月の行事 ◆

- 7～9 日 75 周年記念聖会 (オンライン)
- 12 日 母の日
- 12 日 第三礼拝に台湾の陽子先生と賛美グループによる集会
- 19 日 ペンテコステ礼拝・聖霊待望会
- 26 日 青年部街歩き謎解きゲーム

◆ 6 月の行事 ◆

- 11 日 (火) 南地区合同女性大会
- 16 日 (日) 南地区壮年大会

■ 編集後記

最近、時系列の感覚が鈍ってきてしまい、過去の出来事が去年だったのか一昨年だったのか定かで無くなっている。そんな中、前回編集したのは忘却の彼方。昨年度、広報伝道部に在籍しながら何も活動しなかった事は確かだ。今年度は、引退しようと思っていた。部長が結婚し教会から離れた所へ引っ越された。事務能力は衰退したが、時間だけはたっぷりある。微力ながら協力できるかと留まった。結局、原稿集めなどお膳立てはほぼ部長がしてくれて、何とか編集できた。

と、ここまで書いて眠りについて翌日に編集再開しました。あープロジェクトXの中島みゆきが流れています。なんだか勘違いして書いています。原稿を寄せてくださった方々、背中を押して助けてくださった神様に感謝しつつ

(やなせ)

ウインディチャペル 溝のロキリスト教会
〒213-0033
神奈川県川崎市高津区下作延 7-11-12
TEL・FAX 044-811-3235
E-mail mcc@windychapel.com
ホームページ <http://windychapel.com>